



清風

南砺市立上平小学校
学校だより
令和2年11月
上平小学校ホームページ
<http://kamitaira-e.el.tym.ed.jp>

五箇山の地域や文化を守り育てていく力を育む

校長 林 秀次

先日、合掌の里で、今年亡くなられた小林亀清さんをしのぶ座談会がありました。西敬一さんはじめ地域の方々、五箇山を研究しておられる筑波大学教授の黒田乃生先生、ボランティアで関わってくださっている大家善一さんや学生さん等、多くの方が集まりました。その場に参加させていただき、地域の方々や関わっておられる方々の熱い思いを感じることができました。座談会の中で、亀清さんが残された楮地区の昔の地図（家やその向きもしっかりと書いてあるもの）が紹介されました。その地図を見た県外のボランティアの学生さんが「私は建築をやっているのだけれど、この地図を3Dのようにできると思う。」と話されたのが印象的でした。

学校では11月13日に金沢大学准教授の加藤隆弘先生をお招きして、5、6年のネットモラル講習会を行いました。講習ではAI（人工知能）やネットを用いた新しい技術のよさと気になる部分を考えながら、自分たちにはどのようなことが大切なのかを考えました。私はAIスピーカー等の人工知能やネットを用いた新しい技術を使ったことがあったり、知っていたりする子供が多いことに驚きました。また、自分の生活を振り返りながらネット利用について真剣に考えている子供たちの姿を見てうれしくなりました。

ここ10年のネット、AIをはじめとする技術の発達を見るにつけ、これから生きる子供たちは今の私たちには想像できないような多くの新しい技術に触れていくことになると思います。その新しい技術と五箇山地域の文化を柔軟な発想で結び付けることでこの地域の新しい価値を見だし、発展させていってほしいと思っています。そのためには実生活上もネット上もルールやモラルを大切に、人とつながり、関わり合いながら生きる力や豊かな発想、事柄をつなぎ合わせて考える柔軟さ等の力が必要だと感じています。これらの力を、家庭の皆様、地域の皆様と連携を取りながら育てていきたいと考えています。



変わらない伝統を受け継ぐ心

民謡担当 勇崎 小百合

今年の学習発表会は、コロナ禍の影響でこれまでとは違う形での発表となりました。着付けの際の密を避けるため着物には着替えず、こきりこの地方はフェイスシールドやマウスシールドを使用して演奏しました。

これまでと違う形での発表ではありましたが、講師の先生方に教えてもらう時の子供たちの眼は、これまで先輩たちがそうであったように、親しみと尊敬に満ちていたように思います。踊るときの視線や、指先から足先の動きなど、多くのことを学んでいました。

時勢に応じて変わる部分と変わらない伝統を受け継ぐ心を実感した今年の民謡学習でした。

